辺野古通信

第30号　2012年9月18日

9.9 沖縄県民大会

国会包囲行動

発行:沖縄の自立解放闘争に連帯し、反安保を闘う連続講座（沖縄講座@横浜）
沖縄講座 HP　http://www7b.biglobe.ne.jp/~okinawa-koza/

全国で9・9同時アクション！オスプレイ沖縄配備を許すな！

■9月9日の沖縄県民大会は、101,000人（宮古・八重山合わせて103,000人）の大結集となった。反基地をテーマとした大会としては2年前の90,000人を上回る過去最大の結集だ。会場には赤いゼッケンやTシャツやリボン、手ぬぐいなどの「レッドカード」があふれた。（2頁に報告）

■同日、岩国など全国各地で同時アクション、東京では国会包囲行動が取り組まれた。10000人が参加し、首都圏における沖縄関連の大衆行動としては、過去最大規模だ。（3頁）沖縄講座は、沖縄県民大会に数名派遣するとともに、国会包囲行動を全力で取り組んだ。神奈川では8月25日に厚木基地周辺でオスプレイ配備反対行動を独自に展開したが（4頁）、9月9日の国会包囲行動にも、厚木基地爆音防止期成同盟を中心に大挙参加。配備強行を企図する日米両政府を弾劾した。

■米軍が公表し、防衛省が追認した4月のモロッコ、6月のフロリダのオスプレイ墜落事故の報告書の結論は、全て「人為ミスであり、機体の構造的欠陥ではない」と決め付ける、予想通りの内容となった。米軍関係者や技術者の警告は無視された。日米連携の出来レースを尻目に、9月6日、ノースカロライナでオスプレイが不時着。複数の海兵隊筋が「エンジンからの出火」を認め（9/9沖縄タイムス）、機体トラブルが生じた可能性が高いにも関わらず、日米両国は「特に問題はない」と沖縄配備への影響を否定するばかり。当初予定通り10月中の沖縄普天間基地配備―本格運用を目指している。「強行配備されれば全基地閉鎖」－「レッドカード」の後はない。沖縄の人びとの怒りの深さを、日米両政府は思い知ることになるだろう。■9月27日に横浜市緑公会堂で米軍ジェット機墜落事故抗議集会が開かれる。主催は35年前の墜落事故を毎年振り返り抗議集会を開催している浜北友好連等の実行委員会。講師は、大田昌秀元沖縄県知事だ。オスプレイ配備で米軍機墜落事故の危険性は格段に高まる。悲劇を繰り返さないために、私たちは何ができるか、改めて考える機会としたい。■沖縄講座も参加する基地撤去を目指す県央共闘会議では、沖縄での10月配備強行阻止行動に連帯する厚木基地周辺での取り組みを計画中。また10月27日の2012ピースフェスティバル（10時―15時大和駅前広場）ではオスプレイの模型やパネルを展示し、配備の問題点を訴える。

■辺野古・高江カンパは累計1,318,065円(9月17日現在)。引続きカンパを！
郵振 00210-0-2021 沖縄連続講座

9.27 緑区米軍ジェット機墜落事故抗議集会へ！

9月27日(木)18時20分　横浜市緑公会堂(JR横浜線・市営地下鉄中山駅5分)

記念講演「復帰40年～沖縄の現状と課題」

講師：大田昌秀さん（元沖縄県知事）

1977年9月27日、厚木基地を飛び立った米軍機が旧緑区(現在の青葉区荏田)に墜落し9人の死傷者を出した。元沖縄県知事の大田昌秀さんからの問題提起を受け、二度と悲劇を繰り返させないために何ができるか考えたい。

■主催：9.27集会実行委員会（連絡：浜北友好連）

9.9沖縄県民大会 10万余の怒りの声渦巻く

地元紙の社説は、オスプレイ配備を「住民への『無差別襲撃』に等しい。」と断じた。「配備を強行すれば県民の反発は海兵隊のみならず、間違いなく米四軍全てに向かう。」（9/9 琉球新報）

この報告書を書いていると、あの日の暑さ、熱気がまるで今のように思い出される。

当日朝８時に集合し宜野湾海浜公園へ。天気予報は晴れ、最高気温 32 度。幸運にも宜野湾マリーナ駐車場が空いていた。海浜公園正面歓海門付近のコンビニで食料を購入し海浜公園へ。様々なビラと県民大会次第と沖縄タイムス号外を貰う。会場である多目的広場を通り過ぎ、トロピカルビーチ脇の屋根付きのベンチで食事、一日の行動の打ち合わせ。ビーチで水着だけで遊ぶ観光客やベンチの家族連れの観光客に混じり、徐々に赤い T シャツや帽子を被った参加者が目立ち始める。10 時頃、会場である多目的広場へ移動、会場は大会統一カラーであるレッドカードの怒りの赤色で染まっていた。すれ違う人々は、「オスプレイ NO」と印刷された T シャツの人もいたが、大半は普段着ている赤色のシャツなどで、中には地元少年野球チームの赤いユニフォームを着た児童と引率者、また某プロ野球リーグのレッドソックスの T シャツの女性もいた。組織された人間よりも、地元の県民が目立って多かった印象だ。多目的広場はステージを中心に、既に人でうまっていた。アトラクションの最後に登場した与那覇歩さんが『平和の琉歌』を歌い大いに盛り上がった。

11 時、会場の木陰に避難していた参加者も、強烈な日差しの会場中心へ移動、開会。仲井真県知事のメッセージ朗読の場面では欠席した知事への怒りから、「読むのをやめろ！」などの怒号が飛び交った。空を見上げると、取材のヘリが飛び回っていた。登壇者の挨拶や決議文採択、行動提起等が終わり、12 時には大会終了、参加者はそれぞれに抗議の声を挙げに普天間基地大山ゲートに向かった。道中で赤いシャツを着た市民や小さな子供を連れた家族連れを追い越し、ゲート前公園に到着。ゲート方面からは、怒りの赤と黒のリボンをゲートフェンスに結び終えた人々が続々と降りてくる。我々も

最後の集団とゲートに。集団の中にギターを持ったまよなかしんやさんを見かける。ゲートでは主催者から赤と黒のリボンを渡された。赤は怒りの、黒は基地を無くす、葬る意味で葬儀の黒、との事。フェンスへ結んだあと、まよなかしんやさんの歌、そして主催者の決意と、この行動を土曜日曜だけで終わらせない、具体的な今後の行動計画（65～75 歳が中心となって平日行動も行う）などが述べられ、団結ガンバロウで解散した。ゲート前では、軍関係車両が通りかかると、のぼり旗を掲げた市民が、土地を返せ！出ていけ！と大声を上げて車両に詰め寄るシーンがみられた。またゲートから下っていく途中、ゲート前公園隣のマンションのベランダに、抗議の意思表示の赤い布状のものが掲げられていたのが印象的だった。

◆　◆　◆

大会前には辺野古と高江を訪問し、横浜で集めているカンパを届けた。残念ながら大会決議では「高江のオスプレイパッド建設阻止」は触れられなかったが、閉会挨拶で、加藤沖縄弁護士会会長が「オスプレイは高江にも飛ばさせない！」と力強く宣言すると大きな歓声が沸いた。オスプレイに反対しながら高江のヘリパッド建設工事を容認する県知事や東村長の姿勢への疑問の声も多く聞かれた。（I）

9.9沖縄県民大会に呼応し10000人が国会包囲！

9月9日の日曜日、沖縄も東京も天気快晴、じりじりと夏の強烈な日射しが降り注ぐ。オスプレイ配備に反対する沖縄県民大会が宜野湾市海浜公園で開かれ、これに呼応して東京では、約1万人の参加者が「人間の鎖」で国会を包囲した。「政局」に浮き足立つ政治家たちにも、米国の顔色ばかり伺う野田内閣の面々にも、「オスプレイ配備を撤回せよ！」の叫びは、確実に届いたはずだ。

◆　◆　◆

午前10時すぎ、国会正門の右手奥、憲政記念会館前に到着。基地撤去をめざす県央共闘会議、厚木爆同の仲間が続々と集まってきた。

沖縄県民大会が始まった11時ころ、国会正門前では三線のメロディに—乗って「沖縄を返せ」の演奏。警察が歩道の中央に規制線を設け狭く囲ったため、人があふれ始める。8月に在沖米軍司令部前でハンストを決行した沖縄･一坪反戦地主会関東ブロック元代表世話人の上原誠信さんが元気な顔を見せた。

関東ブロック共同代表の外間三枝子さんが主催者挨拶。「沖縄をこれ以上ばかにするのはやめてほしい。**沖縄ではこれから身体を張った闘いが始まる。ぜひみなさんの力を貸してほしい**」。東京沖縄県人会の島袋徹さんは「**世界で一番危険な飛行場に、世界で一番危険なオスプレイが配備される。断じてこれを阻止する**」と決意表明。軍事評論家の前田哲男さんは「年間330回もの低空飛行訓練が実施される。ある人々の利益のために、ある人々に犠牲が強いられる。**日米安保こそこの犠牲のシステムだ。**民意を伝えるために、国会前はふさわしい場所だ」と発言。野党国会議員の発言･メッセージに続き、国会議事堂に向けてシュプレヒコール。「原発やめろ！」「オスプレイ反対！」の掛け声が自然に連なる。

正午前に到着した、呼びかけ人の一人・哲学者の高橋哲哉さんが発言。「沖縄県民大会にはたくさんの人が集まり大成功だというメールが入っています！」と報告すると大歓声。「オスプレイは6日、アメリカで市街地に緊急着陸した。目撃した女性の話では煙が出ていたという。オスプレイ自体が『危険だ』とメッセージを発している」「森本防衛大臣が試乗し『快適だ』と言った。ならば何度でも乗ってみればいい。**政府は沖縄に基地の過剰負担を押し付けてきた。これを許している私たちにも責任がある。99%の本土側の人間が声をあげ、東京の政治を変え、基地を撤去させよう！**」。

正午から包囲行動開始。憲政記念会館前に戻り、シュプレヒコールをあげながら国会裏手に進む。官邸前に近づくと不当にも警察が歩道に規制線を張り通せんぼ。これに抗議し暫く押し問答。正門前では、横断歩道の信号が青になるたびに両側から中央に駆け寄り、つないだ手を高く掲げて人間の鎖を完成させた。信号が変わり始めると警察が規制を始める。そんな攻防があちこちで繰り広げられた。

◆　◆　◆

5万人、10万人の脱原発行動を経験していると「参加者1万人」は物足りなく思えるが、首都圏の沖縄連帯闘争としては過去最大規模。この間の脱原発行動への参加者も合流した。

沖縄県民大会の103,000人と東京の10000人。この〈非対称〉が、〈復帰〉＝再併合40年の沖縄の現実—軍事植民地状況を映し出す鏡だ。その現実を覆すために、何ができるのか。

日米両政府は、4月のモロッコ、6月のフロリダの墜落事故、9月6日のニューカロライナの不時着も、「操縦士の人為ミス」で口をそろえ、10月普天間配備—本格運用の日程に変更はないと強弁している。

沖縄の闘いに呼応する首都圏での行動が、引き続き求められている。

厚木基地周辺でオスプレイ配備反対行動を展開

沖縄の闘いに応え、神奈川からもオスプレイ配備反対の声を上げようと、8 月 25 日、厚木基地周辺で、「オスプレイ配備と違法爆音を許さない 8.25 神奈川行動」が展開された。主催は厚木基地爆音防止期成同盟・厚木第四次爆音訴訟団・基地撤去をめざす県央共闘会議・神奈川平和運動センター。集会とデモの前段行動として、厚木基地への申し入れ行動も行われた。

13 時、約 30 人で厚木基地正面ゲートに押しかけ、基地司令官あての「オスプレイの配備計画の撤回と、その他の軍用機の飛行中止を求める要請書」を提出。受け取りに出てきた通訳の女性を含めて 4 人の米軍関係者に、「オスプレイ配備反対」「違法爆音をとめろ！」の文字入りウチワをプレゼント。全員で基地に向かって「オスプレイの配備を撤回せよ！」「違法爆音やめろ！」と怒りのシュプレヒコールを浴びせた。

15 時半、大和駅近くのやまと公園で集会開始。猛暑にもかかわらず、約 300 人が結集。神奈川平和運動センターの小原事務局長から主催者あいさつ、厚木爆同の藤田委員長からは厚木基地への申し入れ行動の報告、東京で活動する沖縄一坪反戦地主会関東ブロックの外間共同代表からは、9 月 9 日のオスプレイ配備反対沖縄県民大会と同時アクションとして、国会包囲行動が呼びかけられた。また、牧嶋座間市議からオスプレイ配備反対の市議会決議（県内初）の報告。オスプレイが搬入されている岩国の田村市議からの連帯メッセージもあり、最後に集会宣言を採択し、シュプレヒコールをあげてデモ行進。大和駅周辺から厚木基地脇を通って相模大塚駅までのコース。途中、厚木基地フェンス越しに、「オスプレイ配備反対」「違法爆音をとめよ！」のウチワを掲げて基地に向かってシュプレヒコール。オスプレイ配備阻止に向けて神奈川から全力で取り組む決意を新たにした、熱い一日となった。

沖縄県民大会決議

我々は、本日、日米両政府による垂直離着陸輸送機ＭＶ２２オスプレイ強行配備に対し、怒りを込めて抗議し、その撤回を求めるためにここに集まった。／　沖縄県民は、米軍基地の存在ゆえに幾多の基地被害をこうむり、1972 年の復帰後だけでも、米軍人等の刑法犯罪件数が 6,000 件近くに上るなど、米軍による事件・事故、騒音被害も後を絶たない状況である。／　1995 年９月に、米海兵隊員３人による少女暴行事件が起こり、同年 10 月には事件に抗議する県民総決起大会が行われ、８万５千人もの県民が参加し、米軍に対する怒りと抗議の声を上げた。県民の強い抗議の声に押され、日米両政府は、1996 年の日米特別行動委員会（ＳＡＣＯ）により米軍普天間基地の全面返還の合意を行った。／　しかし、合意から 16 年たった今日なお、米軍普天間基地は市街地の真ん中に居座り続け、県民の生命・財産を脅かしている。／　そのような中、日米両政府は、この危険な米軍普天間基地に「構造的欠陥機」であるオスプレイを配備すると通告し、既に山口県岩国基地に陸揚げがなされている。さらに、オスプレイは米軍普天間基地のみでなく、嘉手納基地や北部訓練場など、沖縄全域で訓練と運用を実施することが明らかとなっており、騒音や墜落などの危険により、県民の不安と怒りはかつてないほど高まっている。／　オスプレイは開発段階から事故をくり返し、多数に上る死者を出し、今年に入ってからもモロッコやフロリダ州で墜落事故を起こしている構造的欠陥機であることは、専門家も指摘しているところであり、安全性が確認できないオスプレイ配備は、到底容認できるものではない。／　沖縄県民はこれ以上の基地負担を断固として拒否する。そして県民の声を政府が無視するのであれば、我々は、基地反対の県民の総意をまとめ上げていくことを表明するものである。／　日米両政府は、我々県民のオスプレイ配備反対の不退転の決意を真摯に受け止め、オスプレイ配備計画を直ちに撤回し、同時に米軍普天間基地を閉鎖・撤去するよう強く要求する。／　以上、決議する。／２０１２年９月９日

オスプレイ配備に反対する沖縄県民大会